

保証書

マイコン沸とうVE電気まほうびん保証書

持込修理

取扱説明書・本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。
製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。この製品は持込修理対象製品ですので、郵送などで修理依頼された場合の送料などはお客様負担となります。

型名	CV-TE22/ CV-TE30		修理メモ
※お客様 お名前	電話番号		
※お客様 ご住所 〒			
※お買い上げ日 年 月 日	※販売店名・住所・電話番号		
保証期間 お買い上げ日より 本体1年			

※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

1. 転居・ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼に
なれない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にご連絡ください。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ) 使用上の誤りや不当な修理・改造による故障および損傷。
(ロ) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
(ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害・塩害・虫害・
ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧・指定外の使用電源(電圧・
周波数)などによる故障および損傷。
(ニ) 一般家庭用以外(たとえば業務用など)に使用された場合の
故障および損傷。
(ホ) 車両・船舶などに搭載された場合の故障および損傷。
(ヘ) 本書のご提示がない場合。
(ト) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入のない
場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
(チ) 消耗品などの交換。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
4. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管
してください。

- お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサー
ビス活動およびその後の安全点検活動のために利用させて
いただく場合がございますので、ご了承ください。
- この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無
料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によっ
て保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の
事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものでは
ありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不
明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談
窓口にお問い合わせください。

象印マホービン株式会社

〒530-8511 大阪市北区天満1丁目20番5号 電話 (06)6356-2451

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などの
ご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い
合わせください。

ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社
の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせ
ください。

所在地・電話番号などは変更になることがあり
ますので、あらかじめご了承ください。

ホームページのご案内

象印マホービン お客様サポートサイト
<http://www.zojirushi.co.jp/toiawase/>

お客様
ご相談センター **0120-345135**

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

- 一部のIP電話など、フリーダイヤルがご利用いただけませんので電話での
お問い合わせ……………TEL (06) 6356-2451 (有料)
- FAXでのお問い合わせ……………FAX (06) 6356-6143 (有料)

製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・
電話番号・FAX番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」の個人情報は、製品の
アフターサービスおよびその後の安全点検活動のために、弊社グループ会社および
協力会社との間で共同利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

愛情点検

長年ご使用のマイコン沸とうVE電気まほうびんの点検を!



こんな症状は
ありませんか

- ご使用中、コード・差込みプラグが
異常に熱くなる
- 保温ランプに切りかわらないとき
がある
- その他の異常や故障がある

ご使用
中止

こんな症状のときは、故障や
事故防止のため、使用を中止し、
コンセントから差込みプラグ
を抜いて、必ず販売店に点検
(有料)をご相談ください。

CV-TE 型 ©(B)



家庭用

マイコン沸とう

VE電気まほうびん

ゆ う と う せ い

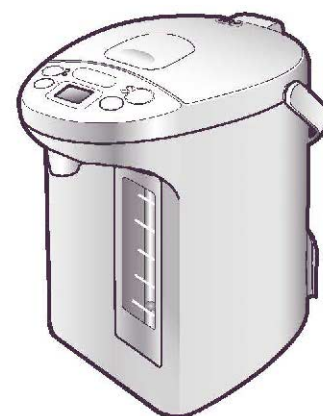
優湯生®

型 CV-TE22 型

名 CV-TE30 型

取扱説明書

保証書つき



- このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管してください。

「ZOJIRUSHIオーナーサービス」で
製品登録をお願いいたします。

ZOJIRUSHIオーナーサービスでは登録いただいたお客様に
消耗部品の特別価格販売など様々な特典をご用意しています。

「ZOJIRUSHIオーナーサービスWEBサイト」
<https://www.zojirushi-support.jp/>



- 「ZOJIRUSHIオーナーサービス」の登録についてはパソコン・
スマートフォン・タブレットといった機器が必要です。
- 本サービスは、日本国内に居住する個人のお客様に限り、日本
国内でのみ利用可能です。

もくじ

お使いになるまえに

- 安全上のご注意 …………… 2
- 各部のなまえと扱い方 …………… 4

使い方

- 湯を沸かす …………… 6
- 湯を注ぐ …………… 8
- 残り湯を捨てる …………… 8
- 再沸とう …………… 9
- 空だき防止 …………… 9

便利な機能

- 保温設定 …………… 10
- 沸とうセーブコース …………… 12
- 省エネモード …………… 12
- 節約タイマー …………… 12
- ゆっくりカフェドリッップ給湯 …… 14

お手入れ

- 内ぶたパッキンの交換 …………… 14
- お手入れ …………… 15
- クエン酸洗浄(ピカポット) …………… 16
- 部品の交換・購入について …………… 16

困ったときに

- 商品Q&A …………… 17
- 故障かなと思ったとき …………… 17
- アフターサービス …………… 19
- 仕様 …………… 19
- 保証書 …………… 裏表紙
- お客様ご相談窓口 …………… 裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の区分で説明しています。

警告 死亡や重傷に結びつく恐れがある内容です。

注意 軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく恐れがある内容です。

■お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。

禁止 してはいけない「禁止」内容です。

指示 実行しなければならない「指示」内容です。

警告

分解禁止 改造はしない。また修理技術者以外の方は分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

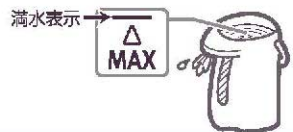
水ぬれ禁止 水に浸けたり、水をかけたりしない
流し台など水にぬれた場所に置かない
ショート・感電の恐れがあります。

ぬれ手禁止 ぬれた手で差し込みプラグを抜き差ししない
感電・けがの恐れがあります。

接触禁止 蒸気口に触ったり、手や顔を近づけない
やけどの恐れがあります。特に乳幼児には触らせないようにご注意ください。

禁止 蒸気口をふきんなどでふさがない
湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。上ぶたの変形・変色や故障の原因になります。

満水表示以上の水を入れない
湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。



禁止 製品を転倒させない
自動給湯ロックされていても、製品を傾けたり倒したりすると注ぎ口や蒸気口から湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

上ぶたをつけたまま残り湯を捨てない
上ぶたがはずれたときに湯がかかって、やけどの恐れがあります。

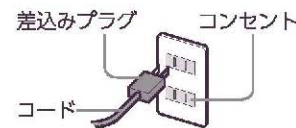
製品を抱きかかえたり、傾けたり、揺すったり、上ぶたを持って移動や排湯をしない
自動給湯ロックされていても、製品を傾けたり倒したりすると注ぎ口や蒸気口から湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
やけど・感電・けがの恐れがあります。

マグネットプラグをなめさせない
感電・けがの恐れがあります。特に乳幼児には触らせないようにご注意ください。

マグネットプラグの先端にピンなど金属片やごみを付着させない
感電・ショート・発火の原因になります。

禁止 コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。



交流100V以外では使用しない
火災・感電の原因になります。

上ぶたを勢いよく閉めない
湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

氷を入れて保冷用に使わない
結露が生じ、感電・故障の原因になります。

水以外のものを入れたり、沸かしたりしない

泡立ちが起こり、内容物がふきだして、やけどの恐れがあります。また水路や電動ポンプ内が詰まったり内容物の焦げつきや腐食・フッ素被膜がはがれる原因になります。

●牛乳・酒・スープ・備長炭・ティーバッグ・お茶の葉
●インスタント食品の調理
●レトルト食品のあたためや食材をポリ袋などに入れて加熱する調理

警告

禁止 コードを傷つけない
無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりするとコードが破損し、火災・感電の原因になります。

必ず実施 差し込みプラグの刃(プラグの先端)および刃の根元にほこりが付着している場合はよくふく
火災の原因になります。

差し込みプラグは根元まで確実に差し込む
感電・ショート・発煙・発火の原因になります。

必ず実施 定格15A以上のコンセントを単独で使う
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火の原因になります。

上ぶたは確実に閉める
倒れたときに湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

内ぶたパッキンが白く変色したら交換する

傾けたり誤って倒したときに湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。また、蒸気漏れにより、やけど・故障の原因になります。

必ず実施 異常・故障時には直ちに使用を中止する
そのまま使用すると、発煙・発火・感電・けがの原因になります。
<異常・故障例>
●差し込みプラグ・コードが異常に熱くなる
●コードに傷がついたり、触れると通電したりしなかったりする
●製品が変形したり、異常に熱くなる
●製品から煙が出たり、焦げくさいにおいがする
●製品の一部分が割れたり、緩みやがたつきがある
●蒸気が10分以上出続け、保温に切りかわらない
●製品から水が漏れる
このような場合は、すぐに差し込みプラグを抜いて、販売店に必ず点検・修理を依頼する

注意

接触禁止 上ぶたを開けるときは、出る蒸気に触れない
やけどの恐れがあります。

使用中や使用後しばらくは高温部に触れない
やけどの恐れがあります。

禁止 不安定な場所では使用しない
やけど・けがの恐れがあります。

熱に弱い敷物の上では使用しない
火災の原因になります。

直火(ガス台など)や電気ヒーター・IH調理器・IHクッキングヒーターなどの上に載せない
火災・故障の原因になります。

禁止 製品を持ち運ぶときは、上ぶた開閉つまみに触れない
上ぶたが開いて、やけど・けがの恐れがあります。

給湯中に本体を回さない
湯が飛び散り、やけどの恐れがあります。

壁や家具の近くで使わない
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。

専用の電源コード以外は使用しない
電源コードは他の機器に転用しない
また海外仕様の電気製品に使用しない
故障・発火の原因になります。

禁止 湯沸かし中は、湯を注がない
湯が飛び散り、やけどの恐れがあります。

プラグを抜く 使用時以外は、差し込みプラグをコンセントから抜く
けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

必ず実施 お手入れは冷めてから行う
高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

差し込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差し込みプラグを持って抜く
感電・ショート・発火の原因になります。

お願い

■本体を引きずって移動しない
机などに傷がつく恐れがあります。

■落とす・ぶつけるなどの衝撃を与えない
故障・破損の原因になります。

■キッチン用収納棚などの上で湯沸かしをする場合は、蒸気が天井部分に当たらないように注意する
変色・変形の原因になります。

■凍結する恐れのある場所に長時間電源を切って放置する場合は、必ず内容器の水を完全に捨てる
凍結による故障の原因になります。

■空だきはしない 火災・故障の原因になります。

■ラジオなどの近くで使用しない
ラジオ・テレビ・無線機・インターホンなどへの影響のないところまで離れて使ってください。雑音が入る恐れがあります。

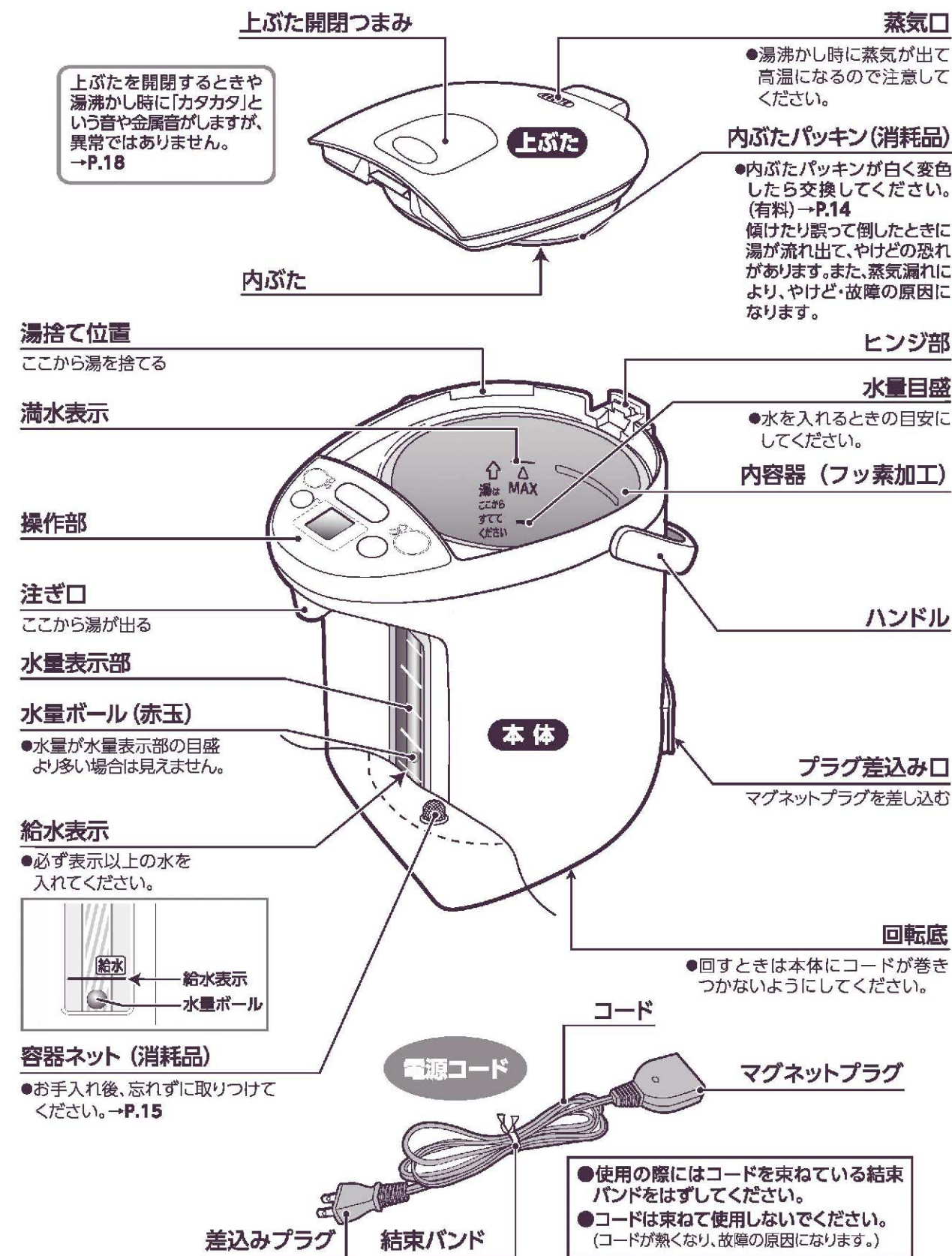
■他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない
蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。

■操作部・水量表示部には湯がかからないように注意する
故障の原因になります。



●お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

各部のなまえと扱い方



操作部

- キーは確実に押してください。
- 「給湯」キー中央の「●」は、目の不自由な人へ配慮したものです。

この製品には受けつけ音や報知音などのお知らせ機能はありません。

沸とうセーブランプ

湯沸かしランプ

「沸かす」キー

再沸とうするときに使う
→P.9

沸とうセーブコースに設定するときに使う
→P.12

省エネモード選択時に、元の設定温度に復帰したいときに使う→P.12

クエン酸洗浄するときに使う(3秒以上押す)→P.16

「保温設定」キー

保温温度を設定するときに使う
→P.10

保温ランプ

「給湯」キー

湯を注ぐときに使う→P.8、14

ゆっくり給湯ランプ

ロック解除ランプ

給湯

沸かす

沸とうセーブ

保温設定

ゆっくり給湯

ロック解除

省エネ

タイマー

「ロック解除」キー

ロック解除するときに使う→P.8
ゆっくりカフェドリップ給湯を選択するときに使う→P.14

「省エネ/タイマー」キー

省エネモード/節約タイマーを設定するときに使う→P.12

表示部

湯温・タイマーの時間などを液晶で表示します。

すべてを表していますが、お使いになる中でこのような表示はしません。

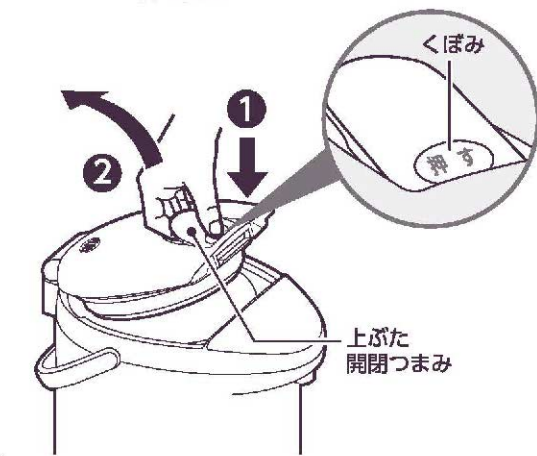
上ぶたの開け方・閉め方

開け方

- ① 上ぶたの開閉つまみのくぼみを押す
- ② そのまま引き上げ、上ぶたを開ける

閉め方

上ぶたを「カチッ」と音がするまで確実に押し込む



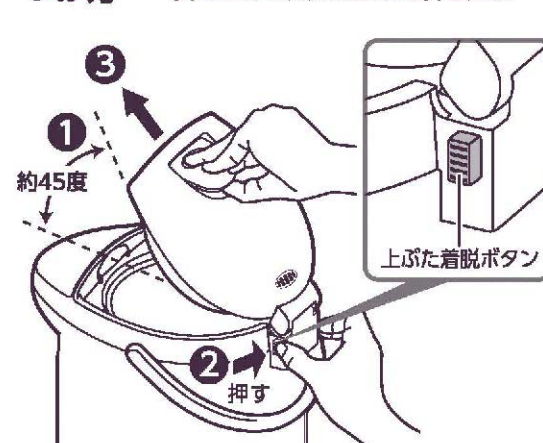
上ぶたのはずし方・つけ方

はずし方

- ① 上ぶたを約45度開ける
- ② 上ぶた着脱ボタンを押す
- ③ 押したまま、斜め上に引き抜く

つけ方

斜め上から奥に元どおり押し込む



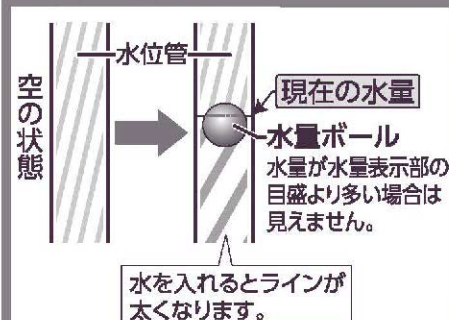
湯を沸かす

1 上ぶたを開け、別の容器で水を入れる

満水表示

△
MAX

水量ボールの位置と水位管のラインの太さで水量がひと目で分かります。



現在の水量

水量ボール
水量が水量表示部の
目盛より多い場合は
見えません。

水量目盛

水を入れるときの
目安にしてください。

お願い

●蛇口から水を
直接入れたり、
流し台に置いて
底面をぬらさ
ないでください。
(製品内部に水が
入り故障の原因)

●操作部など内容器以外に
水がかからないように注意
してください。
(水が入り故障の原因)



●満水表示以上、水を入れないで
ください。
(注ぎ口や蒸気口から湯がふきこぼれ、
やけどの恐れ)

●熱湯を入れないでください。
(空だき防止機能が働く原因)
→P.9

●水以外のものを入れないで
ください。

●市販の水質改質材(炭など)や
ミネラル添加材を入れないで
ください。
(かけらが詰まり故障の原因)

●湯温を早く下げたい場合は、
水量を減らしてください。

●初めてお使いになるとき

●長期間お使いにならなかったとき

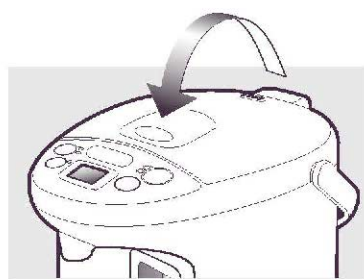
一度満水表示 (△ MAX) まで水を入れ、
手順通りに湯を沸かしてください。その後、湯の通り道をすすぐため、
「ロック解除」キーを押してから「給湯」キーを押し、1L程度の湯を
注いだあと、残り湯を捨ててからお使いください。
(容器ネットは必ず取りつけてください。)

●ミネラルウォーターやアルカリイオン水の
ご使用について

ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用すると、水面に細かな
浮遊物が生じたり、内容器に乳白色のザラザラしたものがつく場合が
あります。これは水の成分(ミネラル分)であり、有害ではありません。
ミネラルウォーターやアルカリイオン水をご使用になる場合は、こま
めにお手入れをしてください。

使いはじめは
プラスチックなどの
においがすることがあり
ますが、ご使用とともに
少なくなります。

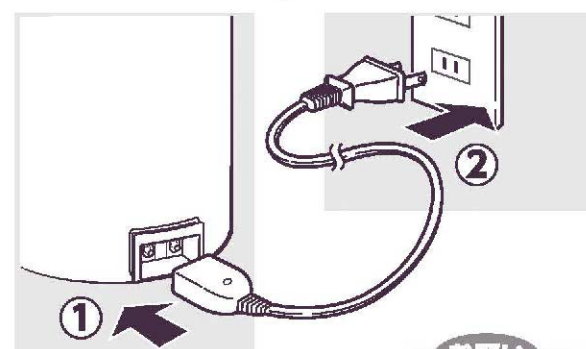
2 上ぶたを開め プラグを接続する



上ぶたは確実に
閉めてください。
(倒れたときに湯が流れ
出てやけどの恐れ)

自動的に湯沸かしを開始

湯沸かしランプが点灯し、液晶に水温を
5℃きざみで表示します。



奥までしっかり差し
込んでください。
(感電・ショート・発煙・
発火の原因)

お願い

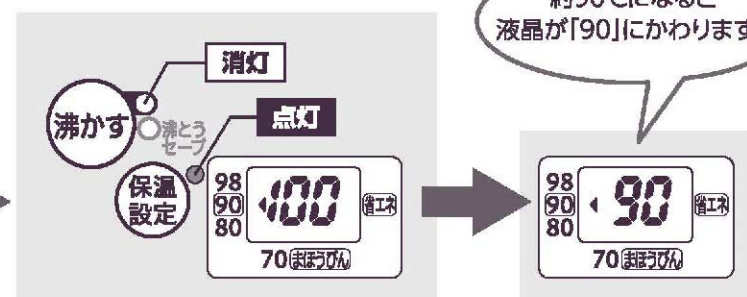
●マグネットプラグの
先端にピンなど金属
片やごみを付着させ
ないでください。

沸とうセーブコースに設定したいときは…
→P.12

湯沸かしが完了すると

自動的に保温を開始(90保温)

湯沸かしランプが消灯、保温ランプが点灯し、
液晶に「100」を表示します。



約90℃になると
液晶が「90」にかわります。

保温の設定温度をかえたいとき

98保温	→	P.10
80保温	→	P.10
70保温	→	P.11
まほうびん保温	→	P.11

お願い

●保温中に湯が少なくなったら水を
つぎ足してください。
(自動的に湯沸かしを開始します。)
ただし、つぎ足す水の量が少ないと
湯沸かしを開始しない場合があります。
その場合は「沸かす」キーを
押してください。→P.9

●やけどの恐れがありますので、
以下の内容をお守りください。

- ・蒸気口にふきんをかけない
- ・蒸気口に触ったり、手や顔を近づけない
- ・湯沸かしランプ点灯中は上ぶたを開けない
- ・湯沸かし中は湯を注がない

湯沸かし完了までの時間

2.2Lの場合	約20分*
3.0Lの場合	約25分*

(室温23℃・水温23℃・満水の場合)
※カルキとばしの時間を含んでいます。
(沸とう後、約3分かかります。)

湯沸かし完了後、湯温が
約90℃になるまでの時間

2.2Lの場合	約55分
3.0Lの場合	約1時間10分

(室温23℃・満水の場合)
●室温・水量などにより時間が
かわることがあります。

湯を注ぐ

1 ロック解除を押す

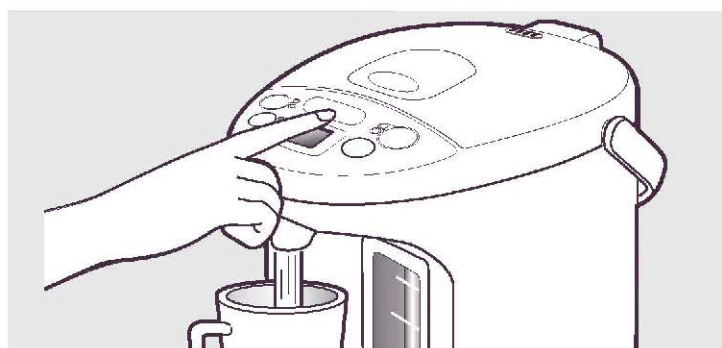


ロック解除ランプが点灯し、湯が注げる状態になります。

お願い

- 内容器が空のときは、ロック解除して「給湯」キーを押さないでください。

2 給湯を押して湯を注ぐ



注ぐときに本体が回らないように注意してください。

- 湯沸かし完了後やしばらく湯を注いでいないときは、湯がぬるい場合があります。1杯目の湯は捨ててください。
- 湯沸かし中は湯を注がないでください。
- 湯沸かし完了後は湯が出にくいことがあります。そのような場合はしばらくしてから、もう一度湯を注いでください。
- 湯沸かしおよび保温中は製品が熱くなりますので注意してください。



注ぎ終わると約10秒後にロック解除ランプが消え、「自動給湯ロック」がかかります。

自動給湯ロック

うっかり「給湯」キーに触れたときに湯が出ない安全機能です。

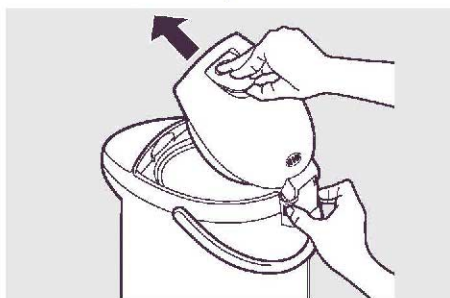
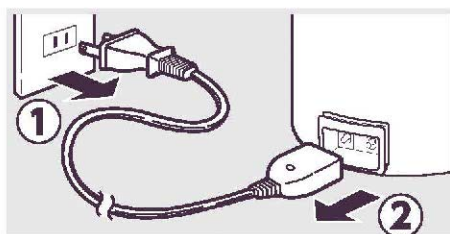
- 注がないときも約10秒後にロックされます。

湯を注いだあと、製品を傾けたり、揺すらないでください。
(注ぎ口からしずくが垂れてやけどの恐れ)

残り湯を捨てる

使わないときは湯を捨ててください。

1 プラグを抜き、上ぶたをはずす



上ぶたをはずすとき

- 蒸気に注意してください。(やけどの恐れ)

2 両手で本体を持ち「湯捨て位置」からゆっくり湯を捨てる



ハンドルをしっかり押さえてください。

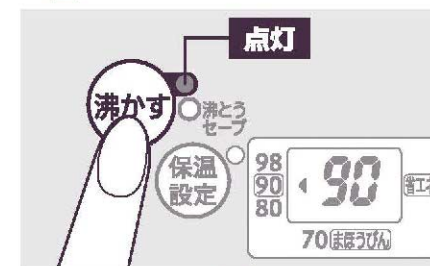
湯を捨てるとき

- 捨てる湯や蒸気に注意してください。(やけどの恐れ)
- 注ぎ口からしずくが垂れることがあるので注意してください。(やけどの恐れ)

再沸とう 保温中の湯を再び沸かすとき

保温中に

「沸かす」を押す 湯沸かしランプが点灯し、湯沸かしを開始



再沸とう完了までの時間

(室温23℃・満水の場合)

98保温の場合
約2～4分
90保温の場合
約5～8分

再沸とうが完了すると保温に切りかわります。

- 「沸かす」キーを2回押すと沸とうセーブコースになります。→P.12
- 再沸とう中は湯を注がないでください。
- 再沸とう完了後は湯が出にくいことがあります。そのような場合はしばらくしてから、もう一度湯を注いでください。
- 省エネモード選択時は、再沸とうはできません。再沸とうするときは、一度省エネモードを解除してから「沸かす」キーを押してください。→P.12

お願い

- 再沸とうするときは、給水表示以上の湯が入っていることを確かめてから「沸かす」キーを押してください。

空だき防止



- 空だきを繰り返すとフッ素被膜が変色したり、はがれたりする原因になりますのでご注意ください。

次のようなときは、過熱による故障を防ぐために空だき防止機能が働いてヒーターへの通電を停止し、表示でお知らせします。

- 水を入れずにプラグを接続したとき
- 給水表示以下の水量で湯沸かししたとき
- 湯を使いきったまま放置したり、給水するため上ぶたを開けたまま放置したとき
- プラグを接続後、すぐ熱湯を入れたとき

処置

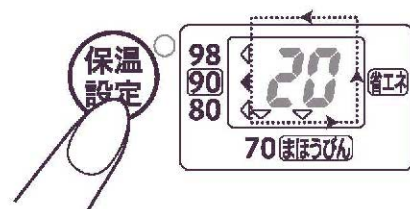
プラグを抜き、内容器が十分冷めてから給水表示以上の水を入れ、再びプラグを接続する

保温設定

保温設定を押して設定を切りかえる

キーを押すごとに表示部の「◀」マークが移動しますので用途に応じて合わせてください。

90 → 98 → 90 → 80 → 70 → まほうびん
(初期)



コーヒーや紅茶・カップめん

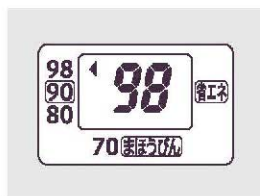
98保温

98℃はコーヒーや紅茶・カップめんに適した温度です。

「98」を選ぶ



湯沸かしが完了すると湯沸かしランプが消灯、保温ランプが点灯



湯温が約98℃になると温度表示が変わる

●沸とうし続けるのを防ぐため、気圧などの条件によっては、96～97℃で保温することがあります。

日本茶に

80保温

80℃は日本茶(煎茶)に適した温度です。

「80」を選ぶ



湯沸かしが完了すると湯沸かしランプが消灯、保温ランプが点滅

(保温中に設定した場合、80保温設定の2秒後に点滅にかわります。)



湯温が約80℃になると温度表示が変わり、保温ランプが点滅から点灯にかわる



(沸とうセーブコースで湯沸かしした場合、保温ランプは点滅せずに点灯します。→P.12)

湯沸かし完了後、湯温が約80℃になるまでの時間

2.2Lの場合	約2時間30分
3.0Lの場合	約3時間10分

(室温23℃・満水の場合)

●室温・水量などにより時間がかわることがあります。

- 切りかえは保温中でも行えます。
(湯温により、自動的に再沸とうを開始する場合があります。)
- 沸とうセーブコース設定中は98保温・まほうびん保温を選べません。

プラグがはずれた場合

- 誤ってプラグがはずれた場合は、再びプラグを接続してください。
- 数分間プラグがはずれた状態が続いたあと、再びプラグを接続すると90保温に戻り、自動的に再沸とうを開始することがあります。

赤ちゃんのミルク作りに

70保温

70℃は赤ちゃんのミルク作りに適した温度です。

「70」を選ぶ



湯沸かしが完了すると湯沸かしランプが消灯、保温ランプが点滅

(保温中に設定した場合、70保温設定の2秒後に点滅にかわります。)

湯温が約70℃になると温度表示が変わり、保温ランプが点滅から点灯にかわる



湯沸かし完了後、湯温が約70℃になるまでの時間

1.0Lの場合	約2時間
2.2Lの場合	約3時間50分
3.0Lの場合	約4時間50分

(室温23℃の場合)

●室温・水量などにより時間がかわることがあります。

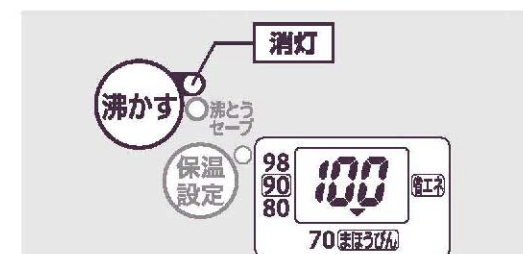
- ミルクを作るときは・・・
70℃の湯は赤ちゃんのミルク作りに適した温度です。粉ミルクを溶かしてから適温(人肌より少し熱め)まで冷ましてください。冷まさずに授乳すると、やけどの恐れがあります。
・保温ランプが点滅から点灯に切りかわっていることを確認してください。
・ミルクを作る前に、コップ1杯程度の湯を捨ててからミルク作りを行ってください。
(水位管内の湯がぬるくなっている場合があるため)
・沸とうセーブコースを使用しないでください。→P.12

消費電力量の節約に

まほうびん保温

湯沸かしが完了するとヒーターへの通電を停止し、まほうびん構造によって保温するので、消費電力量の節約になります。

「まほうびん」を選ぶ



湯沸かしが完了すると湯沸かしランプが消灯

まほうびん保温に設定した場合の湯温

湯沸かし完了から	2時間後	4時間後	6時間後
2.2Lの場合	約86℃	約75℃	約67℃
3.0Lの場合	約90℃	約80℃	約73℃

(室温23℃・満水の場合。容器中央部の測定値)

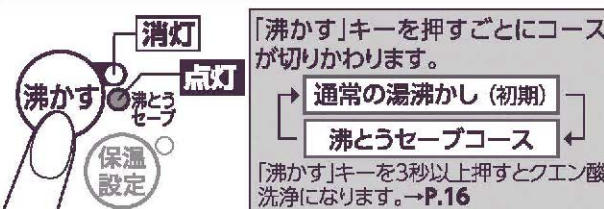
- 湯温は容器中央部の温度を測定したものです。時間の経過とともに容器内の湯温は上下で温度差が生じるため、平均的な温度として容器中央部を測定しています。
- 湯温は徐々に下がりますが、まほうびん保温の場合は実際の湯温より低い温度を表示することがあります。
- 湯量が少ないときは、湯温が早く下がります。
- まほうびん保温中に湯温が下がっても自動的に湯沸かしは開始しません。湯を沸かすときは、「沸かし」キーを押してください。

沸とうセーブコース

沸とうせずに保温設定温度まで湯を沸かし、保温する機能です。短時間で保温設定温度になります。通常の湯沸かしにくらべ、湯沸かし時間を短縮し、蒸気の発生を抑え、消費電力量も節約できます。アルカリイオン水や浄水器の水などカルキとばしの必要がない水の場合に設定してください。

1 湯沸かし中に「沸かす」を押す、沸とうセーブコースを選ぶ

98保温・まほうびん保温設定時に沸とうセーブコースは選択できません。90保温・80保温・70保温に設定してから沸とうセーブコースを選んでください。



2 選択した温度になると自動的に保温を開始

90保温・80保温の場合

選択した温度になると沸とうセーブランプが消灯、保温ランプが点灯



70保温の場合

湯温が約80℃になると沸とうセーブランプが消灯、保温ランプが点滅

湯温が約70℃になると保温ランプが点灯にかわる



- 沸とうセーブコース設定中は98保温・まほうびん保温を選択できません。
- 水をつぎ足すと通常の湯沸かしを開始します。沸とうセーブコースを再度設定してください。
- 水道水をお使いの場合は、カルキ臭が残ることがあります。気になるときは通常の湯沸かしに設定してください。
- 室温・水量などにより湯沸かし完了後の実際の湯温は温度表示と異なる場合があります。
- 室温・水量・気圧により蒸気が出る場合があります。

お願い

- 沸とうさせていないため、ミルク作りをするときには設定しないでください。
- 沸とうセーブコースは沸とうさせない機能ですが、蒸気口は高温になりますので、手を触れないでください。
- 一度プラグがはずれると、沸とうセーブコースは解除されることがありますので再度設定してください。

省エネモード/

省エネモード/節約タイマー

- 省エネモード 約2時間操作がないときは、
- 節約タイマー(6H~10H) 設定時間後に

省エネモードまたは節約タイマーに設定する

- 省エネモードと節約タイマーを同時に設定することはできません。

省エネモードを選択の場合



「省エネ」待機中

- 連続して約2時間操作がないとき
- 省エネ待機中は「沸かす」キーを受けつけません。

「省エネ」開始

- 自動でヒーターへの通電を停止したあと、約70℃で保温します。

元の設定温度まで湯沸かしするとき

「沸かす」を押す

設定温度に達したあと、省エネ待機状態に戻ります。

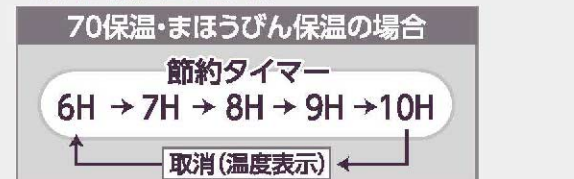
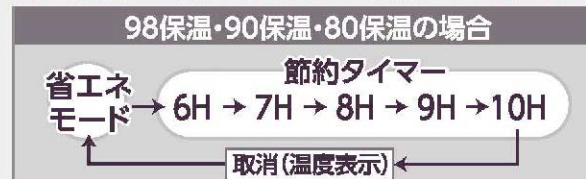
- 湯温が設定温度未満のときは湯沸かしランプが点灯し、設定温度まで湯沸かしします。湯沸かし完了後は設定温度より高い温度になることがあります。
- 湯温が設定温度以上の場合は「沸かす」キーを押しても湯沸かししません。

節約タイマー

自動でヒーターへの通電を停止したあと、約70℃で保温し、消費電力量を節約できます。

湯沸かしが完了します。(節約タイマー設定中は湯沸かしを開始するまでヒーターへの通電を停止するので消費電力量を節約できます。)

キーを押すごとにモード・設定時間が切りかわります。約2秒間キー操作をしなければ表示されているモード・時間に設定されます。



70保温・まほうびん保温選択時に省エネモードは選択できません。

節約タイマー(6H~10H)を選択の場合



自動的に節約タイマーを開始

液晶に残り時間を表示します。湯沸かしを開始すると、残り時間の表示から湯温の表示にかわります。

設定時間後に湯沸かし完了

湯沸かしランプが消灯、保温に切りかわります。→P.7、10、11

室温・水温・水量により設定時間前に湯沸かしが完了することがあります。

- 沸とうセーブコースと節約タイマーを同時に設定するときは、沸とうセーブコースを選択したあとで節約タイマーを設定してください。



プラグがはずれた場合

一度プラグがはずれると、省エネモード/節約タイマーは解除されることがありますので再度設定してください。

省エネモードの解除方法

「省エネ」を1回押す

さらに

節約タイマーを選びなおす場合は

「省エネ」を数回押して希望の時間に設定する

以下の場合省エネモードが解除になります。

- 省エネモード設定時に70保温・まほうびん保温を選択したとき

- 保温設定温度までの湯沸かし完了後は湯が出にくいことがあります。そのような場合はしばらくしてから、もう一度湯を注いでください。また、保温設定温度と湯沸かし完了後の温度表示は異なることがあります。

- 水をつぎ足すと自動で湯沸かしを開始します。ただし、つぎ足す水の量が少ないと湯沸かししないことがあります。その場合は、一度省エネモードを解除してから「沸かす」キーを押してください。

ゆっくりカフェドリップ給湯

少量(通常給湯の約60%)ずつ給湯できるので、湯のはね返りが少なくコーヒードリップに最適です。

1 ロック解除を2回押す

ゆっくり給湯ランプが点灯し、ゆっくりカフェドリップ給湯にかかります。



- ゆっくりカフェドリップ給湯になったあと、さらに「ロック解除」キーを押すと、通常の給湯モードに戻ります。
- ゆっくり給湯ランプが消灯すると「自動給湯ロック」がかかります。
- 湯量が少なくなるときは、「給湯」キーを押してから湯が出るまでに時間がかかることや湯が出にくいことがあります。
- 湯沸かし完了後は湯が出にくいことがあります。そのような場合はしばらくしてから、もう一度湯を注いでください。

2 給湯を押して湯を注ぐ

ゆっくり給湯ランプが点灯している間(約60秒)注げます。



お願い

- やかどに十分注意してください。
- 簡易型レギュラーコーヒーは、ドリッパーが倒れないようにしっかりとカップにセットしてご使用ください。
- 湯沸かし完了後しばらく湯を注いでいないときは、湯がぬるい場合があります。1杯目の湯は捨ててください。
- カップなどの容器が冷たいと、湯が早く冷める場合があります。あらかじめ容器を温めてからお使いください。

内ぶたパッキンの交換

内ぶたパッキンは消耗品です。1年を目安にご確認ください。

新しい内ぶたパッキンは、ぬれた柔らかいスポンジでふいてから取りつけてください。

はずし方

- ①3本のネジをはずし、内ぶたを取りはずす
●ネジをなくさないでください。

- ②内ぶたに取りつけられた内ぶたパッキンをはずす

内ぶたを取りはずしたあと、上ぶたの樹脂部品に異常がないか確認してください。
→変色したりザラザラしている場合は交換(有料)してください。

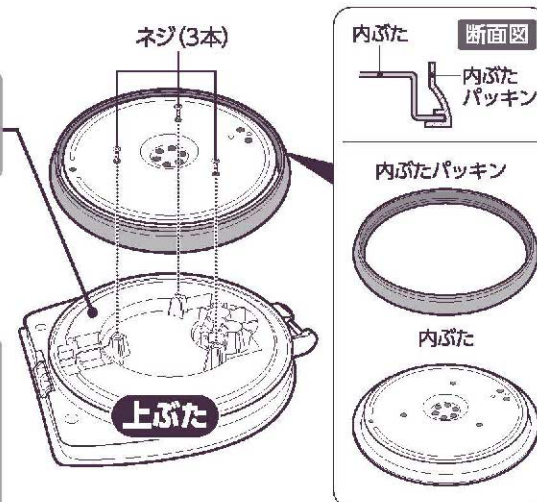
つけ方

- ①内ぶた外周に、内ぶたパッキンを図の通りきっちりとはめ込む
- ②上ぶたに正しく合わせ、3本のネジを確実に締めつける

内ぶたパッキンが白く変色すると、傾けたり誤って倒したときに、上ぶたと本体のすき間から湯が流れ出てやかどの恐れがあります。また、蒸気漏れにより、やかど・故障の原因になります。内ぶたパッキンを交換しても蒸気が漏れたり、湯がふきこぼれるときは、その他の部品が傷んでいることがありますので弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

内ぶたパッキンが白く変色したら...

新しい内ぶたパッキン(有料)と交換してください。



お手入れ

必ずプラグを抜き、残り湯を捨て、製品が冷めてから行ってください。

お願い

- 底がぬれた状態で製品を逆さまにして乾燥させないでください。(内部に水が入り、故障・さびの原因)
- 次のものは、使用しないでください。
 - ・シンナー・ベンジン・漂白剤など(変色、割れ、劣化、腐食の原因)
 - ・みがき粉・ナイロンたわし・金属製のもの・メラミンスポンジ・スポンジのナイロン面・研磨剤入り洗剤など(表面が傷つく原因)
 - ・洗剤(ふきこぼれてやかどの恐れ、においが残る原因)
- 容器ネット以外の部分にブラシは使用しないでください。(表面を傷つける原因)
- 化学ぞうきんを使用する場合は、強くふいたり長時間触れさせたりしないでください。(表面が傷ついたり、化学変化を起こす原因)
- 食器洗い乾燥機・食器乾燥器を使用しないでください。(樹脂の変形の原因)
- 長期間使用しないときは、十分乾燥させて、においがつかないようにし、ポリ袋などに入れて保管してください。
- 本体・上ぶた・電源コードの丸洗いは絶対にしないでください。

内ぶた

ぬれた柔らかいスポンジで汚れをふき取る

内容器

定期的にクエン酸洗浄をする→P.16

以下のようなときに、クエン酸洗浄を行ってください。

- 赤さび状の斑点(もらいさび)がある
- 乳白色・黒色などの変色・膜状のものが浮遊している
- 湯を沸かしたとき、大きな音がする
- 湯がにおう

(使用される水質や湯沸かしの回数によって汚れの状態は異なります。)

容器ネット

内容器からはずし、ブラシで洗う

引き抜くとはずれます。取りつけるときは、しっかりと押し込みます。



汚れが取れない場合は、容器ネットを交換してください。→P.16

必ず取りつけて使用してください。(異物が水路や電動ポンプ内に入り、湯が出なくなる原因)

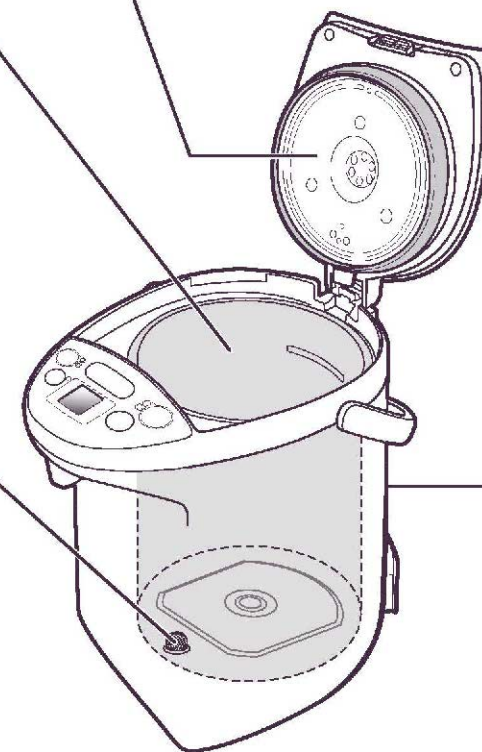
電源コード

乾いた柔らかい布で汚れをふき取る

本体・上ぶた

よく絞った柔らかい布で汚れをふき取る

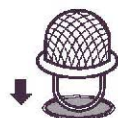
- 操作部・水量表示部に水をかけたり、丸洗いをしないでください。(内部に水が入り、故障・さびの原因)



1〜3カ月に1回は クエン酸洗浄(ピカポット)

お願い 泡立ち、ふきこぼれ防止のため弊社のピカポット(ポット内容器洗浄用クエン酸)をお使いください。(別売品)→下記参照

準備 内容器に容器ネットが取り付けられているか確認する



お願い

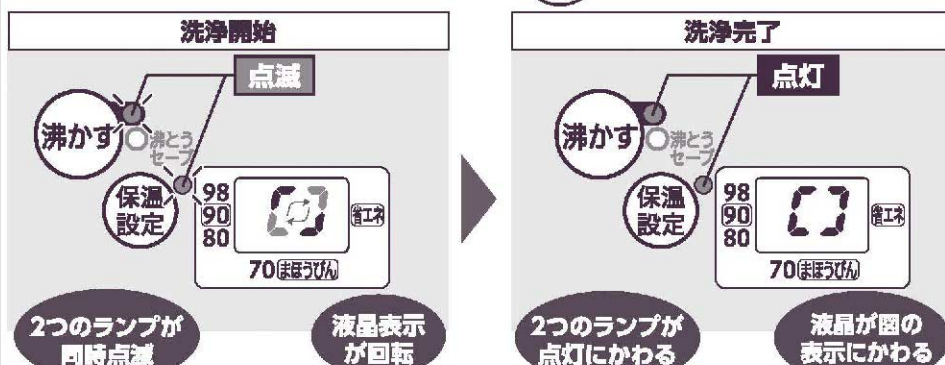
●容器ネットが汚れている場合は、内容器からはずし、ブラシで洗って再度取りつけてください。

お願い

●水は満水表示以上入れないでください。(ふきこぼれる恐れ)

1 コップにクエン酸30gを入れて、ぬるま湯で溶かし、内容器に水といっしょに満水表示(△MAX)まで入れる

2 上ぶたを閉めプラグを接続して、「沸かす」を3秒以上押す



**洗浄時間
約1時間30分***
※洗浄時間は、水量・水温・室温などにより多少かわります。

3 プラグ・上ぶたをはずして湯捨て位置から湯を捨てる
(ヒンジ部に湯がかからないように注意してください。)

4 水だけを沸かし、コップ1杯程度の湯を注いだあと、残りの湯を捨てる
(内容器および注ぎ口内部をすすぐため)

途中でクエン酸洗浄を取り消す場合は
プラグを5秒以上 抜いてください。

お願い ●汚れが落ちにくい場合や湯が出にくい場合は、繰り返しクエン酸洗浄をしてください。

湯を捨てるとき

●捨てる湯や蒸気に注意してください。(やけどの恐れ)
●注ぎ口からしずくが垂れることがあるので注意してください。(やけどの恐れ)

●ミネラルウォーターやアルカリイオン水をご使用になる場合は、内容器や容器ネットに水の成分(ミネラル分)などの汚れが付着しやすくなります。また、内容器や容器ネットに付着した汚れをそのままにしておくと、湯沸かし中の音が大きくなったり、湯が出にくくなります。ミネラルウォーターやアルカリイオン水をご使用になる場合はこまめにお手入れしてください。

部品の交換・購入について

- 損傷した場合は、新しい部品と交換(有料)してください。
- 消耗品は保証期間内でも「有料」とさせていただきます。
- お買い求めの際には製品の型名および部品名をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。(ホームページでのご購入は裏表紙参照)

	部品名	部品番号
消耗品	内ぶた/パッキン	625702-00
	容器ネット	BF297053G-00
別売品	ポット内容器洗浄用クエン酸ピカポット(30g×4包入)	CD-KB03型
	電源コード	CD-KD12-J

商品Q&A

水以外のものを入れてもいいのですか?	水以外は入れないでください。入れたものがふきだしてやけどの恐れがあります。また、故障の原因になります。	▶ P.2
毎日湯はかえないといけないのですか?	1日1回は残り湯を捨ててください。残り湯を捨てないと、内容器に水アカが付着し、湯沸かしの音が大きくなったり、湯がにおう原因になります。	▶ P.8
ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用してもいいのですか?	使用できます。ただし、水面に細かな浮遊物が生じたり、内容器に乳白色のザラザラしたものがつく場合があります。これは水の成分(ミネラル分)であり、有害ではありません。こまめにお手入れしてください。	▶ P.7 ▶ P.16
クエン酸洗浄中に湯を飲んでしまった!!	クエン酸洗浄剤に記載されている内容に従って処置してください。	
電気ポットの電源を入れたままで外出しても大丈夫?	万一、水がなくなっても空だき防止機能によりヒーターへの通電を停止しますので、ご安心ください。ただし、空だきを繰り返すと内容器のフッ素被膜が変色したりはがれたりする原因になりますので注意してください。	▶ P.9

故障かなと思ったとき

修理を依頼される前に、一度お調べください。

こんなときは	お調べいただくこと	直し方
湯が沸かない	プラグがはずれていませんか?	▶ プラグを差し込んでください。
沸とうしない	沸とうセーブコースを選んでいませんか? (沸とうセーブコースは沸とうしません。)	▶ 「沸かす」キーを押し、通常の湯沸かしを選んでください。→P.12
	内容器に水アカなどがついていませんか? お手入れ(クエン酸洗浄)されていますか?	▶ クエン酸で内容器をお手入れしてください。→P.16
	長期間使わなかったのでは?	▶ 一度湯を沸かし、「ロック解除」キーを押してから「給湯」キーを押し、1L程度の湯を注いだあと、残り湯を捨ててからご使用ください。→P.7
湯がにおう	水道水を沸とうセーブコースで湯沸かししていませんか?	▶ 気になるときは、通常の湯沸かしを選んでください。→P.12 通常の湯沸かしは湯沸かし完了までにカルキとばしをしています。

- 使いはじめはプラスチックなどのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。
- 水道水に含まれる消毒用塩素(カルキ臭)が残ることがあります。

注ぎ口や蒸気口から湯がふきこぼれる	水を満水表示以上入れていませんか?	▶ 水を満水表示以下に減らしてください。
沸とうセーブコースが選べない	98保温・まほうびん保温になっていませんか?	▶ 90保温・80保温・70保温に設定してから沸とうセーブコースにしてください。→P.12
沸とうセーブコースで、98保温・まほうびん保温が設定できない	沸とうセーブコースで98保温・まほうびん保温は設定できません。	▶ 沸とうセーブコースは98保温・まほうびん保温の設定以外で使用してください。→P.12
沸とうセーブコースで湯沸かし中に蒸気が出る	●沸とうセーブコースは沸とうさせない機能ですが、室温・水量・気圧により蒸気が出ることがあります。	

	湯沸かし完了後やしばらく給湯していないときは、水位管に水が残っているため、湯がぬるい場合があります。	▶ 1杯目の湯は捨ててください。
湯がぬるい	設定をまほうびん保温にしていますか? ヒーターへの通電を停止していますので、湯温は徐々に下がります。 省エネモードや節約タイマーを設定していませんか?	▶ 「沸かす」キーを押してください。→P.11〜13
湯が冷めやすい (まほうびん保温設定時)	湯が少なくなっていないですか?	▶ 水を足し(満水表示以下)、「沸かす」キーを押してください。

故障かなと思ったとき っづき

こんなときは

お調べいただくこと

直し方

湯が出ない、出にくい

湯沸かし完了後しばらくは、湯が出にくいことがあります。

内容器・容器ネットに水アカなどがついていませんか？

自動給湯ロックになっていませんか？

プラグがはずれていませんか？

水路や電動ポンプ内に水の成分(ミネラル分)が付着して湯が出にくくなる場合があります。

湯の中で膜状のものが浮遊している
(フッ素被膜がはがれてきて
いるのでは？)

内容器に乳白色のザラザラしたものがつく

湯沸かし中に大きな音がする

内容器に赤さび状の斑点がつく

湯の中で白いものが浮遊している

製品外側が熱くなる

電源コードが熱くなる

上ぶたを開閉するときや湯沸かし時に「カタカタ」という音や金属音がする

表示部や水量表示部がくもる

湯沸かし時は内容器底から泡が発生します。しばらくしてから、もう一度湯を注いでください。

内容器・容器ネットをお手入れしてください。→P.15

「ロック解除」キーを押してから「給湯」キーを押してください。→P.8

プラグを差し込んでください。

クエン酸で内容器をお手入れしてください。→P.16

水アカ

お使いいただいているうちに、水の中に含まれている水の成分(ミネラル分)が、内容器や容器ネットに付着してきます。これは「水アカ」と言われているもので、有害ではありません。

変色したりザラザラしている場合は交換(有料)してください。

●湯温や室温が高い場合は製品外側が約60℃になるとありますが、異常ではありません。

●湯沸かし中は、電源コードが熱くなる場合がありますが、異常ではありません。

●万一転倒した場合に、湯の流出を防止するためのおもりの動く音です。異常ではありません。

●蛇口から直接給水したり、流し台に置いて底面がぬれたりすると、製品内部に水が浸入し、表示部や水量表示部がくもることがあります。ショート・感電の原因になりますのでプラグを抜いてお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

ランプが点灯し、液晶が「HH」表示をする

2つのランプが同時点滅し、液晶表示が回転する

液晶が E2・E3・E4 表示をする

故障です。

内ぶたパッキン

樹脂部品

点灯

点滅

水は少なくないですか？プラグ接続直後に熱湯を入れませんでしたか？空だき防止機能が働いています。

「沸かす」キーを3秒以上押しませんでしたか？クエン酸洗浄中です。

プラグを抜き、内容器が十分冷めてから給水表示以上の水を入れ、再びプラグを接続してください。→P.9

クエン酸洗浄を取り消す場合、プラグをいったん抜き、5秒以上たってからもう一度接続してください。→P.16

お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご連絡ください。

●内ぶたパッキンは消耗品ですので、1年を目安にご確認ください。上ぶたと本体のすき間から蒸気が漏れたり、内ぶたパッキンが白く変色してきた場合は交換してください。→P.14

●上ぶたの樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。内ぶたパッキンを交換するときなどに樹脂部品を確認し、変色したりザラザラしている場合は、交換(有料)してください。(樹脂部品は食品衛生上安全な材料を使用しています。)

上ぶたの消耗

内容器(フッ素加工)は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。お買い上げの販売店または、弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

アフターサービス

1. 保証書の内容のご確認と保管のお願い

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間

3. 修理を依頼されるとき

4. 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後 5年間

5. 修理料金の仕組み

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

ただし、内ぶたパッキン・容器ネットは消耗品のため、保証期間内でも「有料」です。

「故障かなと思ったとき」(P.17、18)をご確認のあと、直らない場合は使用を中止し、コンセントから差込みプラグを抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。

修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。「技術料」は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。「部品代」は、修理に使用した部品および補助材料代です。「出張料」は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■お客様ご自身での修理・分解や改造は絶対にしないでください。

仕様

型名	CV-TE22	CV-TE30
定格容量	2.2L	3.0L
電源	交流100V 50/60Hz	
消費電力	905W	
消費電力量	年間	283kWh/年
	1日当たり	0.78kWh/日
コードの長さ	1.0m	
外形寸法(約cm)	幅21×奥行28.5×高さ26	幅21×奥行28.5×高さ30
質量(コード含む)	約2.5kg	約2.7kg
電動ポンプ(電動機)消費電力	約2.0W	

●消費電力量とは、日本電機工業会自主基準による測定の場合です。
(室温23℃、湯沸かし2回/1日、再沸とう1回/1日、保温90℃で23時間/1日、365日/年間、その他水量等の試験条件:JEMA自主基準HD-112に基づく)

●節約タイマー使用時の消費電力は約0.3Wです。

●電動ポンプ(電動機)消費電力とは、給湯時の消費電力です。

●高さは、ハンドルを倒した場合の寸法です。

●特定地域(高い山・厳寒地など)においては、所定の性能が確保できないことがあります。こうした場所での使用はなるべくおさげください。

●この製品は、日本国内交流100V専用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance was designed for use in Japan only where the local voltage supply is AC100V and should not be used in other countries where the voltage and frequency vary.
After-sales service for this appliance is not available outside of Japan.

此产品只针对日本国内专用交流电压 100V 所设计。由于各国所使用电压或电源频率不同，请勿使用于其它地区。另亦无法对此提供售后维修服务。

此產品為針對日本國內專用交流電壓100V所設計。由於各國所使用電壓或電源頻率不同，請勿於其他地區使用。另亦無法對此提供售後維修服務。

본 제품은 일본 국내교류 100V전용으로 설계되었기에 전압이나 전원 주파수가 상이한 외국에서는 사용할 수 없습니다. A/S 또한 불가능합니다.